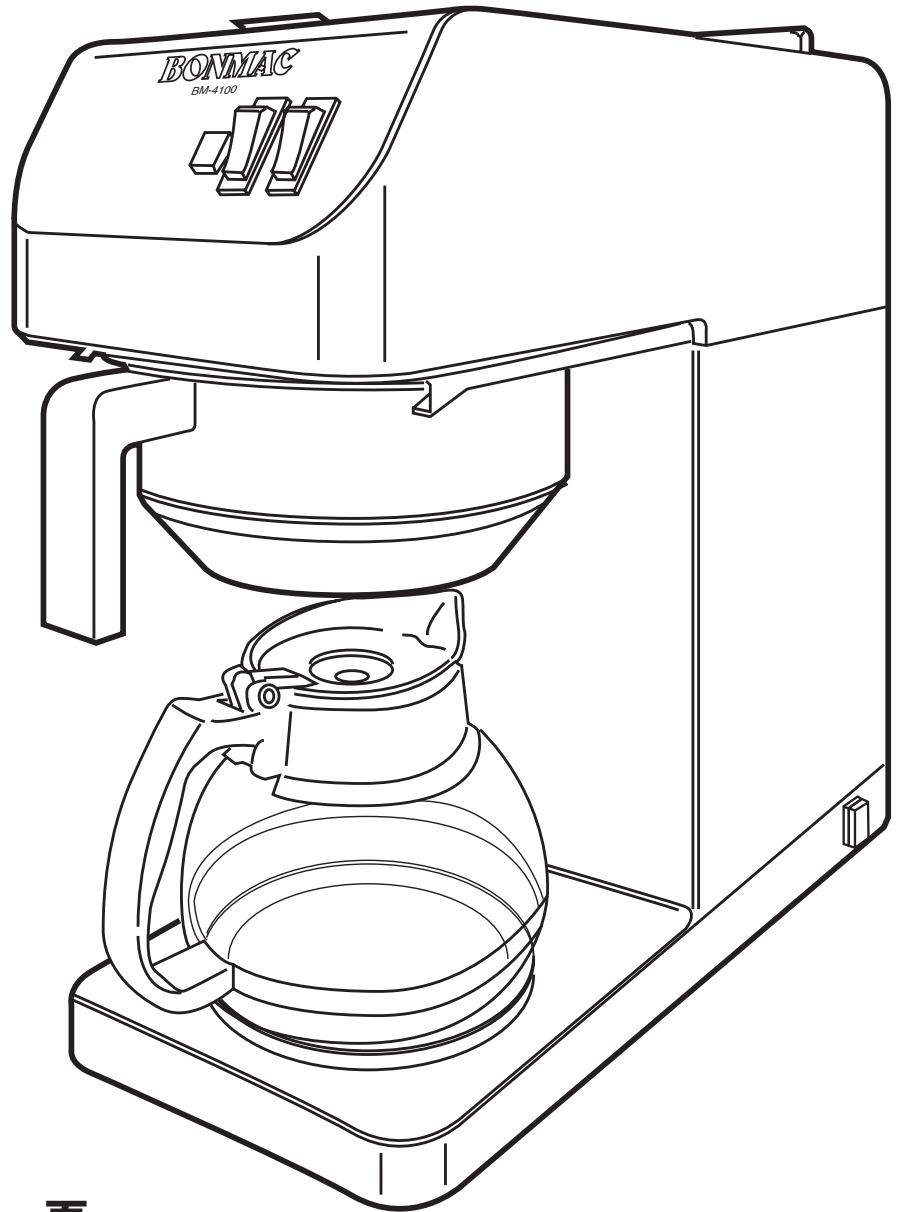


コーヒーブルーワー

# BM-4100

## 取扱い説明書



### 目 次 頁

- 安全上の注意事項…………… 1～2
- 各部の名称…………… 3
- 操作方法…………… 3～5
  - 準備…………… 3
  - コーヒーの抽出…………… 4
  - 使用後の排水方法…………… 5
- お手入れ…………… 5
- 故障かな?…………… 6
- 仕様…………… 6
- 製品保証書、無料修理規定…… 裏表紙

このたびは BONMAC コーヒーブルーワーをお求めいただき、まことにありがとうございます。



ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

# 安全上の注意事項

- ・ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示内容は次の通りです。

-  **警告** 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。
-  **注意** 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 図記号の例

### 分解禁止



○は、禁止（してはいけないこと）を示します。  
 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。  
 左図の場合は「分解禁止」を示します。

### 必ず実施



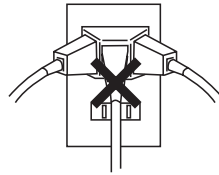
●は、強制（必ずすること）を示します。  
 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。  
 左図の場合は「必ず実施」を示します。

## 警告



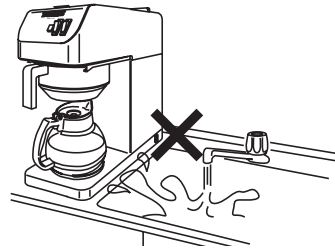
必ず実施

コンセントは専用で使ってください。  
**(容量 15 A 以上か確認)**  
 タコ足配線や延長コードの使用は過熱、発火の原因になります。



禁止

本体に水をかけたり、水につけないでください。  
 ショート・感電の原因になります。



水を入れる前に電源スイッチを「ON」にしないでください。

空だきして、過熱・絶縁劣化による感電・火災の原因になります。



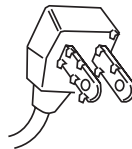
必ず実施

お手入れは、電源スイッチを「OFF」にし、湯沸かしタンク内の湯を排水してから行ってください。また電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。  
 やけど・けが・感電をすることがあります。



必ず実施

電源プラグの刃や刃の取付け面についたほこりは、よくふきとってください。  
 火災の原因になります。



分解禁止

改造はしないでください。  
 修理技術者以外は、分解・修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因になります。

# 安全上の注意事項

## ⚠ 注 意



禁止

交流 100 V 以外では使わないでください。

使うと感電・火災・故障の原因になります。

不安定な場所や、熱に弱い物の上におかないでください。

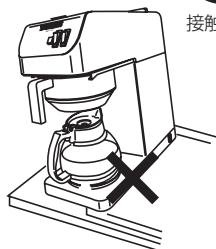
感電・火災・ショートの原因になります。

使用時は移動させないでください。

コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。

コーヒー抽出中・抽出直後にはチャンバーを抜かないでください。

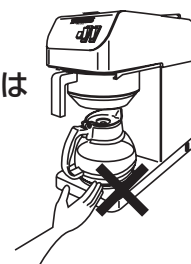
コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。  
 コーヒー抽出後の湯沸かし中に、水の膨張によりシャワーから湯が出る場合があります。



接触禁止

コーヒー抽出中や抽出直後は本体・ウォーマープレートに触れないでください。運転中は本体の上面、側面が熱くなりますので注意してください。

やけどをする恐れがあります。



排水時は排水口付近に触れないでください。

熱湯でやけどをする恐れがあります。



禁止

電源コードを持って電源プラグを抜かないでください。

コードが傷み、感電・ショート・発火の原因になります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードに無理な力をかける、重いものを乗せる、変形させる、たばねるなどしないでください。

電源コードが破損し、感電・発火の原因になります。

長期間沸かしていない湯沸かしタンク内の水は使わないでください。

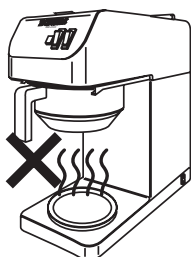
水質が劣化した場合、下痢・腹痛など体をこわすことがあります。



禁止

デカンタなしでウォーマースイッチを「ON」にしないでください。

ウォーマープレートが高温になり、やけどをする恐れがあります。



接触禁止



直火禁止

デカンタを他の熱源にかけないでください。

割れてけがをする恐れがあります。

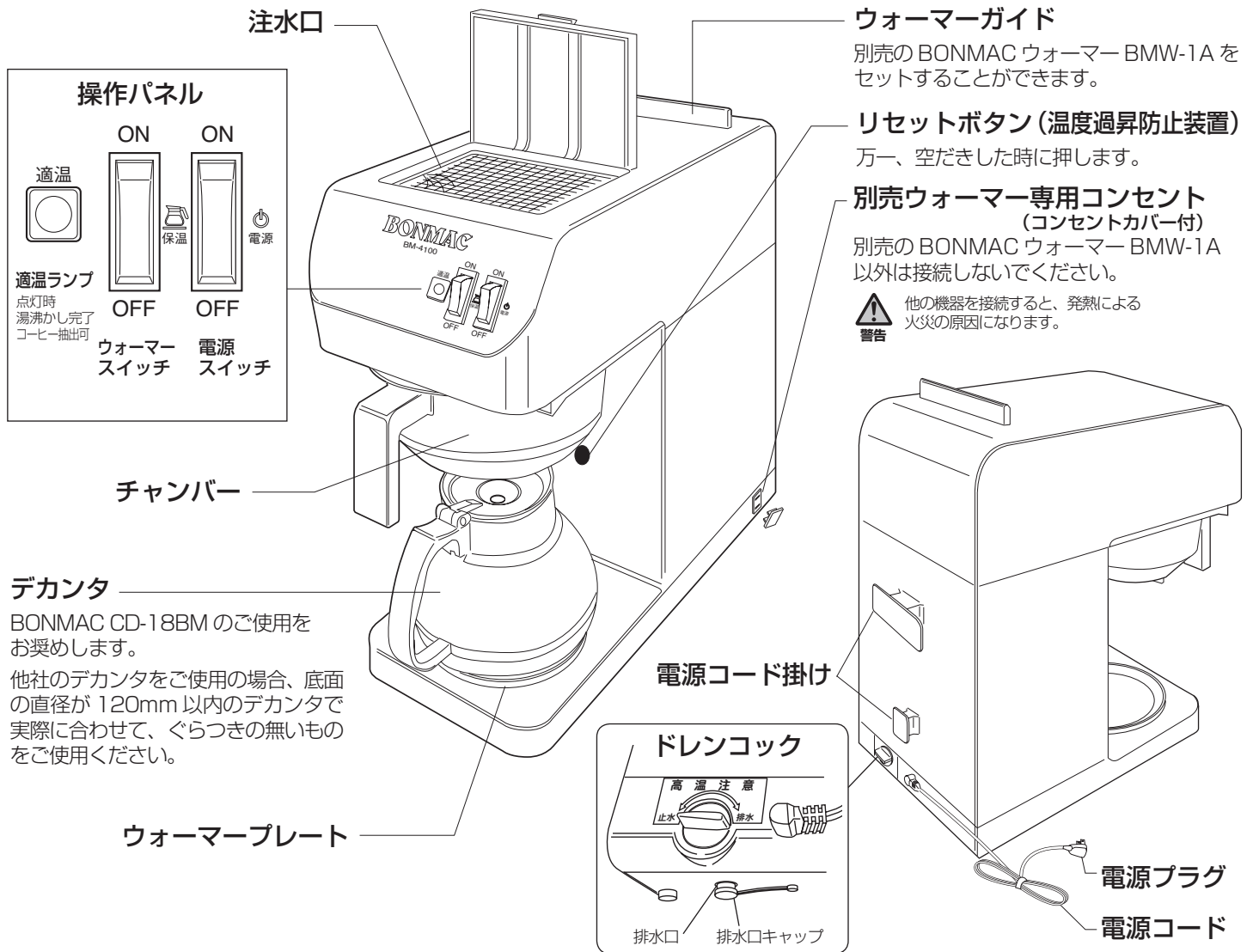


必ず実施

長期間使用しないときは、P.5 の「使用後の排水方法」の手順にて、湯沸かしタンク内の水を排水し、電源プラグを抜いておいてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

# 各部の名称 & 操作方法



**ウォーマーガイド**  
別売の BONMAC ウォーマー BMW-1A をセットすることができます。

**リセットボタン (温度過昇防止装置)**  
万一、空だきした時に押します。

**別売ウォーマー専用コンセント (コンセントカバー付)**  
別売の BONMAC ウォーマー BMW-1A 以外は接続しないでください。

**警告** 他機器を接続すると、発熱による火災の原因になります。

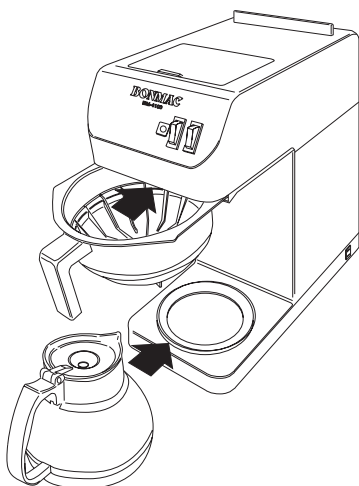


**デカンタ**  
BONMAC CD-18BM のご使用をお奨めします。  
他社のデカンタをご使用の場合、底面の直径が 120mm 以内のデカンタで実際に合わせて、ぐらつきのないものをご使用ください。

## 準備 (初めて使うときや、湯沸かしタンクの排水をしたときは、この手順で準備します。)

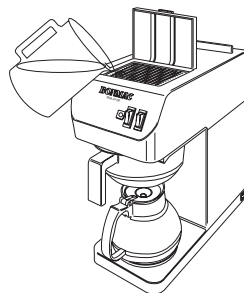
### 1 チャンバーとデカンタをセットします。

チャンバーは奥まで差し込んでください。



### 2 湯沸かしタンクを満水にします。

注水口から水差して 2 回に分け 3,000cc 以上の水を入れてください。チャンバーから水が出始めたら給水を止め、チャンバーから水が落ちなくなるまで待ってください。デカンタにたまった水は捨ててください。



**警告**

- 給水時には、注水口から水がこぼれないように注意してください。漏電の原因になる恐れがあります。
- ドレンコックが閉じていることを確認してください。
- 一度に 1,800cc 以上の水を入れしないでください。注水口からあふれ出ることがあります。

### 3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にします。

**警告**

最初に湯を沸かすとき、水の膨張によりシャワー口から湯が出る場合がありますので、必ずチャンバーとデカンタをセットしておいてください。

**警告**

水を入れずに電源スイッチを「ON」にしないでください。

## コーヒーの抽出

### 1 適温ランプの点灯を確認します。

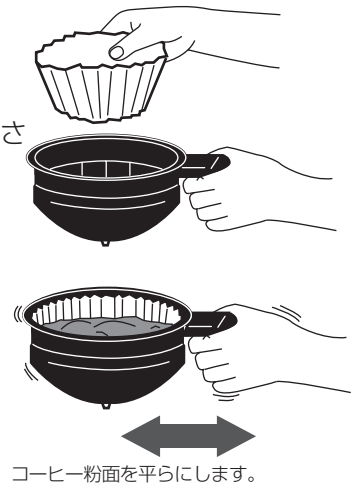
- 電源スイッチを「ON」にしてから約23分で点灯します。
- コーヒーを抽出した後は約11分で再点灯します。  
(気温・水温により変化します。)

### 2 ペーパーフィルターをチャンバーにセットし、コーヒー粉を入れます。

コーヒー粉はペーパーフィルターの大きさに合わせて入れてください。多すぎると抽出中のコーヒーがペーパーやチャンバーからあふれ出る場合があります。ペーパーフィルターは別売品です。No.250, No.270, No.280に対応します。  
(※付属品のペーパーはNo.250です。)

#### コーヒー粉の目安

No.250	100g ~ 120g
No.270	120g ~ 150g
No.280	150g ~ 160g



### 3 コーヒー粉の入ったチャンバーを本体にセットします。

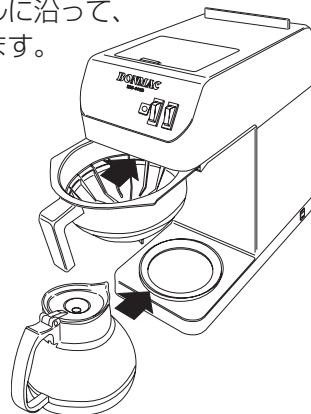
チャンバーは本体のレールに沿って、突きあたるまで差し込みます。

#### デカンタをウォーマープレートに置きます。



ご注意

付属品のデカンタはフタを閉じたまま使用できます。付属品以外のデカンタでフタ付の場合は、フタを開くか、外してコーヒーを抽出してください。



### 4 注水口から水差しで水を入れます。

コーヒー粉に応じた量の水を入れます。  
(400cc以上の水を入れないとコーヒー抽出ができません)



ご注意

- 給水時には、注水口から水がこぼれないように注意してください。  
漏電の原因になる恐れがあります。
- お湯など水以外のものは入れないでください。
- コーヒー抽出後の湯沸し中に、水の膨張によりシャワーから湯が出る場合があります。
- 1度に1800cc以上の水を入れしないでください。



ご注意

#### やけどに注意

コーヒー抽出中、抽出直後はチャンバーを抜かないでください。

### 5 コーヒーを保温します。

- ウォーマースイッチを「ON」にします。  
<ウォーマープレートが温まります>



ご注意

- ウォーマープレートにデカンタを置いたときは、本体を揺らさないでください。
- デカンタのコーヒーがなくなったときは、必ずウォーマースイッチを「OFF」にしてください。

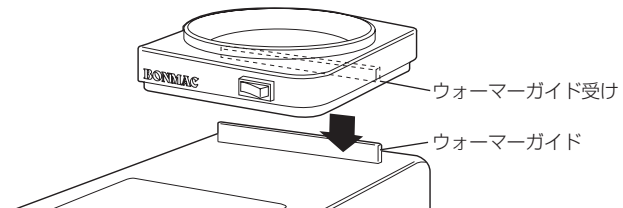


ご注意

ウォーマープレートの上に「水差し」などデカンタ以外の物を置かないでください。

#### 〈別売の BONMAC ウォーマー BMW-1A を使用する場合〉

本体上部のウォーマーガイドに BONMAC ウォーマー BMW-1A をセットすることができます。



ご注意

BMW-1A を本体上部に置く場合、ウォーマーガイドにウォーマーガイド受け(本機底面部分)を入れ、固定させてから使用してください。  
位置がズレたまま使用すると危険です。



警告

#### ウォーマー専用コンセントには

BONMAC ウォーマー BMW-1A 以外接続しないでください。  
他の機器を接続すると、発熱による火災の原因になります。



# 操作方法&お手入れ

## 使用後の排水方法

- 1** 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜きます。

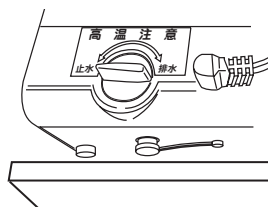


本体が冷えてからタンク内のお湯を捨ててください。

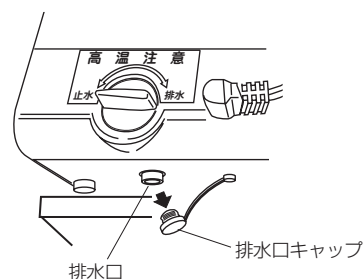
- 2** 本体を後ろにずらし、排水口を置台の外側に出します。



本体が傾きますので、置台からすべり落とさないように注意してください。

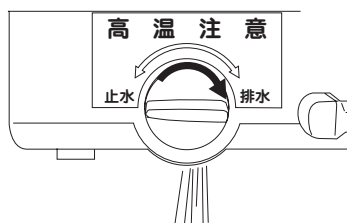


- 3** 排水口の下に3ℓ以上入る容器を置き、排水口キャップを取りはずします。



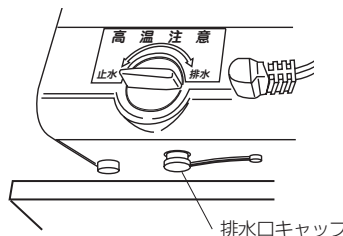
- 4** ドレンコックを「排水」方向に回します。

タンク内のお湯が出てきます。



本体が冷えてからタンク内のお湯を捨ててください。

- 5** 排水が終われば、ドレンコックを「止水」方向に回し確実に閉め、排水口キャップを排水口に入れます。



## お手入れ

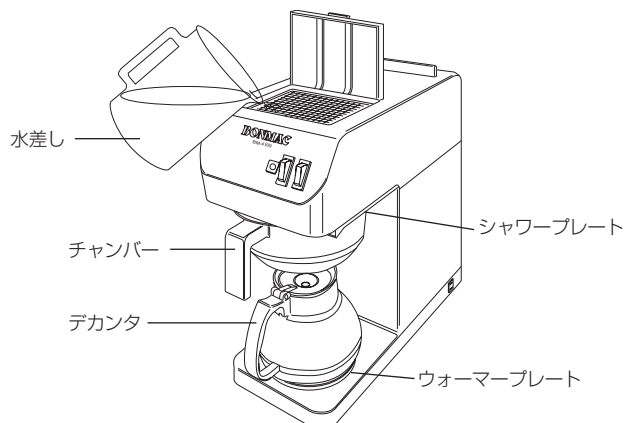


警告

- ◎お手入れは、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜き、ウォーマープレートが冷えてから行なってください。
- ◎本体に水をかけたり水気の多すぎる布やスポンジの使用はしないでください。

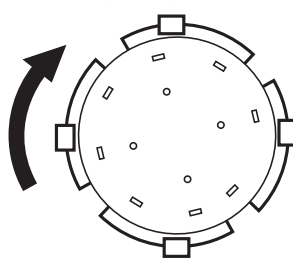
- チャンバー・デカンタ・水差しは、食器用の中性洗剤を使って柔らかいスポンジで洗います。洗剤は、よく洗い流してください。

- 本体・ウォーマープレートは、水（ぬるま湯）でよく絞った柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、薄めた食器用の中性洗剤を使用し、清掃後は洗剤分を十分に拭き取ります。

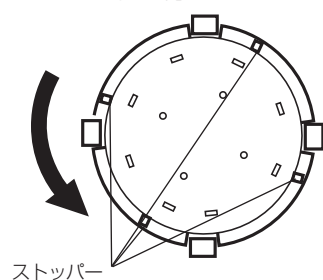


- 本体が十分冷えてからシャワープレートを外し、洗浄してください。プレートの裏側を清掃する場合の取り外し・取付けは次の要領で行ないます。

取り外すとき



取り付けるとき



シャワープレートを上図の矢印の方向に回し、切り欠きを本体フックの位置に合わせて取り外します。

切り欠きを本体フックに合わせてはめ込み、上図の矢印の方向にまわして固定します。

※シャワープレートの4カ所のガイドが、フックに当るまでしっかりまわしてください。



ご注意

- ミガキ粉・タワシ等は使用しないでください。
- ベンジン・シンナーや熱湯は使用しないでください。

# 故障かな？ &仕様

## 故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

こんなとき	次の点をご確認ください。
コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 適温ランプが点灯する前に抽出していませんか。</li><li>・ コンセントは専用で使用していますか。</li><li>・ 風の通る場所に置いていませんか。</li></ul>
適温ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電源プラグは確実に差し込まれていませんか。</li><li>・ 電源スイッチを「ON」にしていますか。</li><li>・ 湯沸かしタンクに水が入っていますか。</li></ul> <p>※湯沸かしタンクに水を入れずに電源スイッチを「ON」にすると、空焚き状態となり保護装置が働きます。</p> <p>この場合は、本体が冷えてから前面のリセットボタン（OCR）を指で「カチッ」と音がするまで軽く押してください。</p>

◎ 次のようなことは故障ではありません。

こんなとき	このような理由です。
本体の側面が熱い	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高温の温水を貯湯しているためです。</li></ul>
注水した後「ゴー」という音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 湯沸かしタンクの湯を沸かしている音です。</li></ul>
注水口フタ内面に露がつく	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 温水を貯湯しているためです。</li></ul>

## 仕 様

形 名	BM-4100
外形寸法 (mm)	幅 203.5 / 奥行 430 (チャンバー装着時) / 高さ 455.5
重 量	4.5kg (乾燥重量)
電 源	単相 100V、50/60Hz
消 費 電 力	930W (タンクヒーター 850W + 保温ヒーター 80W) 1010W (タンクヒーター 850W + 保温ヒーター 80W + 別売ウォーマー専用コンセント 80W)
電源コードの長さ	170cm
湯沸かしタンク容量	約 3,000cc
ウォーマー面	直径 120mm
付 属 品	サンプルフィルター No.250、チャンバー、水差し、デカンタ

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

# 製品保証書

型式	BM-4100	機番	保証期間
お客様様	お名前 様		お買上げ日より1カ年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 ( ) -		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 ( ) -			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。  
ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - \* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

## ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777  
テクニカルセンター 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8992 FAX(078)451-8379  
R事業部 〒981-1226 宮城県名取市植松字入生265 TEL(022)384-6188 FAX(022)384-0745

### 東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

### 支店・営業所

東日本支店 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723  
東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723  
名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市中区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677  
西日本支店 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660  
大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660  
福岡営業所/福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 福岡MIDビル2F TEL(092)433-0178 FAX(092)433-0174  
札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467